

令和7年度岩手県栄養士会生涯教育研修会の開催について

管理栄養士・栄養士は科学の進歩と社会の変化に的確に対応するために、常にスキルの向上を図り、専門職としての能力の習熟が求められます。本研修会では、最新の知識・技術を修得し、資質の維持・向上を図り、さらに専門性を高めることを目的に開催します。皆様の参加をお待ちしております。

1 研修プログラム（裏面をご覧ください）

2 申込方法

(1) 申込用紙での申込

申込用紙に必要事項をご記入の上、岩手県栄養士会あて Fax、郵送、メールでお申込みください。
控えは各自で保管してください。

(2) Web での申込

当会または日本栄養士会のホームページ「研修会」ページまたは QR から、主催「岩手県栄養士会」を選択し、必要事項を入力してお申込みください。
Zoom 参加を希望する方は Web からお申込みください。



3 申込締切

各開催日の前日 15 時まで

4 受講料

(1) 講義 1 単位 90 分

・ 継続会員価格

各開催日1週間前の金曜日 17 時までの申込み 1,600 円

各開催日1週間前の金曜日 17 時以降から開催日前日 15 時までの申込み 1,800 円

・ 新入会員価格 1,600 円

・ 一般(非会員)価格 3,000 円 養成校学生価格 500 円

(2) 全科目受講申込みの会員割引 24,000 円のところ、割引価格 22,400 円とします。

(3) 新人(実務経験 3 年未満の岩手県栄養士会会員)のボトムアップのため、プログラム*印の講義を無料で受講できます。受講の際には、該当欄に記入が必要です。

5 受講料の支払い方法

(1) 銀行振込 下記振込先にお振込みをお願いします。

振込先 岩手銀行本店 店番 001 普通預金 口座番号 1461837 口座名 シヤ) イワテケンエイヨウシカイ

(2) コンビニ Web 申込みの方には、コンビニ専用払込用紙を郵送します。

(3) 振込手数料は各自ご負担願います。

6 キャリアノート

生涯教育(基幹教育)キャリアの体系等を取めた「キャリアノート」を必携してください。
日本栄養士会ホームページから、最新版をダウンロードすることができます。

7 受講時の注意事項とご協力をお願い

(1) 会場参加の方 各講義の 30 分前から受付いたしますので、会場受付にお越しください。

(2) Zoom 参加の方 開催 3 日前までにメールで Zoom 入室 URL 等をお知らせします。Zoom に参加する際の「名前」はフルネームで表示願います。

なお、開始時間 20 分経過後の入室および終了時間 20 分前に退出された場合は、受講単位を認定いたしません。
単位認定の条件として、研修会終了後のアンケートは必ずご回答ください。

お問い合わせ先 公益社団法人岩手県栄養士会 〒020-0021 盛岡市中央通 3 丁目 11-6 グランディール中央 tel/ 019-625-3706 fax/ 019-625-3707 E-mail/ i-dietitian2@iwate-eiyoshikai.or.jp
--

研修プログラム

期日	時間	テーマ・講師	ご紹介	日栄カリキュラムNo.
6月28日(土)	10時～10時20分 オリエンテーション 生涯教育制度について		(無料)どなたでも参加できます。 ※初めて生涯教育研修会に参加される方は受講ください。	
	午前*	大規模災害時に活動できる人材の育成 岩手医科大学災害時地域医療支援教育センター センター長 眞瀬 智彦先生 進行担当 盛岡大学 教授 村元 美代	東日本大震災のから14年がたちました。最近では大船渡市林野火災、大型台風による風水害など、様々な災害に見舞われました。今後起こり得る大規模災害に対応できる人材を育成することを目的の一つに掲げ、活動されてきた災害時地域医療支援教育センター長の眞瀬先生からご講演いただき、災害時の医療支援に我々がどのように携わっていくべきかを考えましょう。	災害時対応 61-101 (実務)
	午後①	なぜあの人は健康行動しない？ ～ナッジで行動へ促す～ 青森大学客員教授 竹林 正樹先生	昨今、国ではナッジを推奨しています。現場の皆様からは「必要とは思いますが、難しい」という声も聞かれます。本研修では、ナッジの基本から実践までを体系的に学べ、「すぐに使ってみたい」と思える時間にします。 (テレビに多数出演され活躍の先生です)	食育のための行動科学 46-111 (実務)
	午後②	進行担当 岩手県栄養士会 会長 吉岡 美子		
7月26日(土)	午前*	最新の知見に基づく食物アレルギー対応 ～それぞれの職域で行う食物アレルギー指導～ 国立病院機構盛岡医療センター 管理栄養士・小児アレルギーエドゥケーター 村里 智子先生 進行担当 岩手県栄養士会 理事 飛塚 美智子	村里先生は、小児食物アレルギーのチーム医療メンバーの一員であり、岩手県アレルギー疾患医療連絡協議会の構成員でもあります。アレルギー対応の均てん化やレベル向上に向けて、講演活動をはじめ、地域住民への啓蒙活動にご尽力されています。本講義では危険回避と必要最小限除去を基本とする耐性獲得とQOL向上を目指した栄養食事指導の最新情報をお話しいたします。	食物アレルギー 23-112 (実務)
	午後①	超高齢社会における栄養ケアの役割(仮) ちゅうざん病院 副院長 吉田 貞夫先生 進行担当 岩手県栄養士会 副会長 千葉 忍	新型栄養失調や高齢者のたんぱく質摂取・認知症高齢者の対応など、高齢者の栄養ケアについて最新の知見や科学的な見解を軽妙なトークに笑いを交えてわかりやすくお話していただきます。たくさんの研究データや先生の豊富なご経験を基にした講義は明日からの現場で活用できる実践的な内容ばかりです。毎回新しいトピックスを盛り込んでいる吉田先生のライブ、ぜひお楽しみに！	高齢者の栄養政策 23-117 (実務)
	午後②	時間栄養学 ～健康長寿のための食べるタイミング～ 広島大学大学院 医系科学研究科 公衆衛生学 准教授 田原 優先生 進行担当 岩手県栄養士会 会長 吉岡 美子	「時間栄養学」は「何を」「どれだけ」食べるかを研究する従来の栄養学に、「いつ」食べるかを追加した学問であり、近年、食と健康の関係において注目されています。時間栄養学の分野では著名な田原先生に、時刻と共に1日の変化をもたらす体内時計研究をベースに、健康によい食べ方の提案についてお話しいたします。	全分野共通 90-110 (実務)
8月30日(土)	午前*	睡眠と健康 日本睡眠学教育機構理事長 放送大学客員教授 中部大学特任教授 宮崎 総一郎先生 進行担当 岩手県栄養士会 副会長 金谷 明美	質の悪い睡眠は生活習慣病の罹患リスクになることから、生活習慣病予防には、睡眠を含めた生活習慣の見直しが必要になります。本講義では、「眠りで日本を元気にする！」睡眠学の第一人者である宮崎先生から、睡眠と健康、特に栄養や食事との関連について御講義いただきます。交代勤務者や夜型生活の方への指導のヒントが得られると思います。	身体活動基準の理解と活用 21-103 (実務)
	午後①	日本人の食事摂取基準(2025年版)策定のポイント 合同会社ヘルス M&S 元東京大学特任助教 児林 聡美先生 進行担当 二戸保健所 主任栄養士 古舘 伸郎	日本人の食事摂取基準(2025年版)が厚生労働省より公表されました。2020年版からの変更点・策定のポイントについて、食事摂取基準の策定にも関わった経験のある児林先生からわかりやすく解説していただきます。この機会に食事摂取基準を紐解いてみましょう。	根拠に基づいた栄養管理 2-3 (基本)

期日	時間	テーマ・講師	ご紹介	日栄カリキュラムNo.
9月27日(土)	午前*	腸内細菌と健康(小腸内細菌異常増殖) 医療法人社団松寿会 松寿会診療所 (KYB クリニックに改称予定) 院長 田畑 淳子先生 進行担当 岩手県栄養士会 副会長 金谷 明美	食後の腹部の張り、便秘や下痢等お腹の不快感がありませんか？腸内細菌の働きを知り、腸内環境改善のための栄養アプローチについて最新の情報や話題急上昇の「小腸内細菌増殖症(SIBO)」について御講義いただきます。特に SIBO については東北初の講義になります。最新の知識を得て、日々の業務に役立てましょう。	全分野共通 90-110 (実務)
	午後①	健康づくりのための身体活動・運動ガイド 2023 ～座位行動研究の最新情報(病を生む”座りすぎ”)～ 早稲田大学スポーツ科学学術院 スポーツ科学部 教授 岡 浩一朗先生 進行担当 岩手県栄養士会 会長 吉岡 美子	WHOは全世界における死亡に対する危険因子として、高血圧、喫煙、高血糖に次いで、身体活動・運動の不足を第4位に位置付けています。令和6年1月、「健康づくりのための身体活動・運動ガイド 2023」が策定されました。推奨事項としては、座位行動(座りっぱなし)の時間が長くなりすぎないように注意すること等が示されましたが、この座位行動について、研究に基づきお話しいただきます。	国民の健康の増進の総合的な推進 2-1 (基本)
	午後②	糖尿病の食事療法の実際 ～カーボカウントと食品交換表の活用～ 大阪公立大学医学部附属病院 栄養部 保健副主幹 藤本 浩毅先生 進行担当 岩手医科大学附属病院 栄養部 副栄養士長 宇夫方 直子	カーボカウントはI型糖尿病の食事療法のためのものと思いませんか？カーボカウントの概念は、すべての糖尿病患者さんに有用ですので、その使い方を含めお話しいただきます。 雑誌「糖尿病ケア」などでカーボカウントや食品交換表に関して執筆されてきた藤本先生が、初心者にもわかりやすく講義してまいります。明日から、食事指導の質を一段階ブラッシュアップできるチャンスです。	臨床栄養 23-102 (実務)
11月29日(土)	午前*	食品衛生管理・感染症の最新情報(仮) 日本微生物研究所 精度管理室 佐藤 寿夫先生 進行担当 岩手県栄養士会 理事 笹田 怜子	近年、食中毒の発生状況は変化をしてくれています。ミクロの世界で健康を守るために研鑽をつまれている日本微生物研究所の佐藤先生から最新の知見をご講義いただき、安全で安心な食事を提供するための方法を改めて学んでみましょう。	衛生管理 37-101 (実務)
	午後①	在宅での食支援の重要性と管理栄養士への期待 岩手医科大学客員教授 武田 俊彦先生 進行担当 岩手県健康国保課 特命課長 小野 儂子	武田俊彦先生は厚生労働省医政局長、厚生労働省政策参与などを経て、現在は岩手医科大学客員教授、ポストン・コンサルティング・グループのシニア・アドバイザーです。地域医療構想の策定など、長きにわたり医療行政に携わったご経験を踏まえ、在宅での食支援の重要性とそこに関わっていく我々管理栄養士へ期待することをご講演いただきます。	全分野共通 90-110 (実務)
	午後②	シンポジウム 「在宅における管理栄養士・栄養士の食支援」 座長 ないとうクリニック複合サービスセンター 在宅訪問管理栄養士 伊藤 清世先生 シンポジスト 東八幡平病院 古川 順勝氏 もりおかわりホームケアクリニック 細川 悦子氏 介護老人保健施設まつみ 藤平 陽子氏	在宅での療養者や要介護者が増加し、在宅での栄養ケアサービスの需要が増大することが予測されています。在宅療養者に対し、多職種と連携が取れ、在宅訪問栄養食事指導を提供できる管理栄養士は全国的にも少なく、岩手県においてはさらに少ない状況です。宮城県で活躍されている伊藤清世先生より基調講演を、県内で活動中の3人のシンポジストから現在の活動紹介をいただき、在宅における食支援について考えていきます。	全分野共通 90-110 (実務)

- ・ 会場 いわて県民情報交流センター アイーナ 8階 会議室 804A (盛岡市盛岡駅西通一丁目7-1)
- ・ 時間 午前 10:30～12:00、午後① 13:00～14:30、午後② 14:45～16:15
- ・ 新人(実務経験3年未満の会員)のボトムアップのため、*印の講義は無料で受講できます。